

建築学科 (旧建築・旧環都一部)

建築学科の近況



工学研究科教授・建築学科主任教授
谷口 与史也

卒業生の皆様にはますますご健勝でご活躍のこととお慶び申し上げます。また日頃より学部ならびに学科の運営に多大なるご支援とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

学科近況報告ですが、2019年3月に学科から28名が卒業し、建築系の前期博士課程から17名が修了しています。就職先は設計事務所、ゼネコン、ハウスメーカー、公務員などと例年通りのものが多くを占めていますが、宮大工を目指す者も現れました。そして4月には36名が学部新たに入学し、建築系の前期博士課程には17名、後期博士課程にも1名が入学して相変わらず忙しくしております。学科のカリキュラムは総合建築教育を維持していますが、林業実習を取り入れた特色ある教育を、若手教員を中心として数年前より実施しております。その他にもそれぞれの研究室でワークショップなるものを開催しており、国内に留まらず海外でもユニー

クな活動をしております。現在大学の国際化はひとつの目標となっています。

次に建築系の後期博士課程の9月修了者は2名居りまして、中村良平氏（建築2006年卒）と角田優子氏が博士（工学）の学位を授与されています。お二人の今後のご活躍を期待するとともに、卒業生の皆様には博士号へのチャレンジをぜひご検討いただくようお願いいたします。

最後に学科の人事異動ですが、4月に建築環境工学分野に岸本嘉彦准教授が着任されました。主に湿気の研究（熱と水分の移動）を専門としています。

末筆になりましたが、卒業生の皆様の益々のご活躍とご健康を祈念いたしますとともに、引き続き学部・学科へのご支援とご鞭撻をよろしく願います。